

主な内容

岩城町政2期目スタート  
第27回ふしの夏まつり開催  
1市4町住民座談会

広  
報

7月

平成17年7月1日発行

No.698

# お ご お り



## 水しぶきを上げて プール開き

夏本番を間近に控えた6月8日、上郷小学校でプール開きが行われ、6年生80人が初泳ぎを楽しみました。この日は上空に雲が広がり、時々日がさす天気。児童は冷たい水にびっくりしていましたが、すぐに慣れ、久しぶりのプールを楽しみました。

第21回 国民文化祭  
やまぐち 2006



# 岩城町政2期目スタート

夢と輝きにあふれるまちを創ります

任期満了に伴う小郡町長選挙の投票が5月29日、町内7か所の投票所で行われました。即日開票の結果、現職の岩城精二氏が再選されました。岩城町長の任期は、1市4町の合併を控えているため、6月18日から9月30日までの約3か月半になります。

10月1日の新市誕生を見据え、これからの町政にかける思いや抱負などを伺いました。



▲ 5月30日初登庁

## 小郡町長選挙開票結果

(敬称略)

	得票数	氏名
当	6,470	岩城 精二
	2,411	瀬原 倫
	119	無効票・その他

【投票率52.04%】

このたびの町長選挙におきまして、町民の皆様の温かいご支援を賜り、10月1日の新市誕生までの短い期間ではありますが、引き続き町政を担うこととなりました。もとより微力ではありますが、いっそうの精進を重ねる覚悟でございます。

さて、1期目は厳しい社会経済情勢や財政状況の中で課題の多い時期であり、あつという間の4年間でしたが、一定の成果を出せたように思います。なかでも合併問題は、一度に30万中核都市形成とはいかないまでも、1市4町による合併を実現させ、県中部の将来の発展につながる大きな架け橋を創ることができました。

今後は、出前講座や地域説明会などで頂きました、多くのご意見やご要望を少しでも実現できるよう最大限の努力をし、新「山口市」誕生に向け万全の準備を行いたいと考えております。

今度誕生します新市は、人口19万人ではあります。県庁所在地であり、なおかつのぞみ号停車の新山口市駅を配し、まさに県勢の振興をけん引する地域であります。そのスタートは19万人でも、30万都市、50万都市への大きな夢につながる第一歩と言えます。合併は一つの手段であり、今後の県央地域

の活性化が大きなカギとなります。

私の好きな言葉に「一華開五葉(いちげごようをひらく)」があります。これは一輪の花が五つの花弁を開き、やがて実を結ぶ。美しくも自然体で力強い繁栄を表した言葉であります。

1市4町の個性が新市のプロジェクト事業として展開され、ひと・まち・自然が輝き、未来を拓く新県都として花が咲き、そして県勢の振興をけん引する30万以上の中核都市形成を实らせたいものであります。

そのためにも、とりわけ、新山口市周辺におけるまちづくりが重要となります。新県都の表玄関にふさわしい開発の方向性や県内外の交流を促進する拠点施設整備について住民の皆様と協働して、明るい未来へ向かって前進してまいります。

今後とも町民の皆様から寄せられました信頼と期待にお応えするため、新たな決意と情熱をもち、夢と輝きにあふれる新市誕生を目指して渾身の努力を傾注する所存でございますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成17年6月

小郡町長 岩城 精二



7月23日(土)  
榎野川東津河川公園

# 第27回 ふしの夏まつり

《主なイベント》 ・ふしの岩戸太鼓

- ・小郡中学校、長州青組ほかによるよさこい踊り ・ひょっこり踊り
  - ・トランス(踊り) ・小郡音頭 ・ふしの踊り ・石ヶ坪音頭
  - ・管絃祭 ・花火大会(午後8時～) ・バンド演奏 ゴスペル
- ※雨天の場合、花火大会のみ翌日に順延します。

【お願い】 ・飲食等のごみを捨てないよう、ご協力ください。  
・お車でのご来場は混雑しますので、できるだけお控えください。

■問合せ 町経済課 商工観光係 ☎973-8157

## イベントタイムスケジュール

・1部 トランス(踊り) 14:00~15:00

・2部 16:00 17:00 18:00 19:00 20:00 21:00

	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00
バンド演奏 ゴスペル	バンド演奏 ゴスペル				ゴスペル	ゴスペル
ふしの岩戸太鼓						
踊り	よさこい	よさこい		ひょっこり踊り 石ヶ坪音頭 ふしの踊り 小郡音頭	よさこい	よさこい
管絃祭						
花火						
ちょうちんツリー						
バザー						

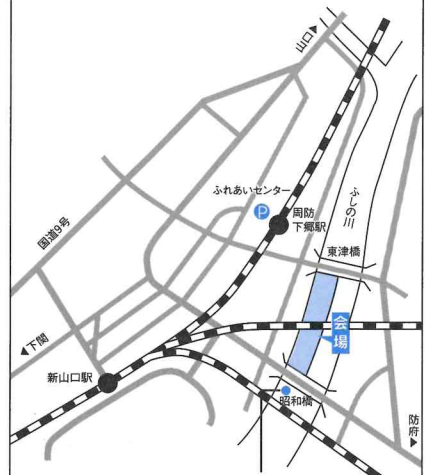
## 雨天の場合

7/24(日) 会場:榎野川河川敷

- ◆花火大会 20:00~20:50 ◆その他のイベントは中止になります。
- ※花火大会の最終決定は、午後4時の「のろし」でお知らせします。

## P 駐車場のご案内

会場付近は駐車場に限りがございます。お車でのご来場はご遠慮ください。  
なお、駐車場は、ふれあいセンターをご利用ください。



身障者用駐車場を若干用意しております。

# 4町共同企画 描こう！ の未来予想

町（山口市・小郡町・秋穂町・阿知須町・徳地町）  
た住民の皆さんに、今まで取り組んできたことや  
いてどう生かせるか、また、新市の未来へどのよ  
ただきました。この座談会の模様は、山口ケーブ  
から放送します。



さわだまこと  
澤田誠さん（阿知須町）  
阿知須町商工会青年部元部長（現 監事）  
阿知須小学校PTA会長



うちだなおみ  
内田直美さん（秋穂町）  
秋穂図書ボランティアグループ代表



いずみじゅんこ  
今澄準子さん（徳地町）  
「重源の郷」で来館者への紙すき指導を  
担当



こやなぎたくや  
小柳拓也さん（山口市）  
山口県立大学社会福祉学部2年生 マジック  
サークル「ミステリーサークル」主宰

## さまざまなる形で まちづくりに携わってきた皆さん

沖永 皆さんこんにちは。この座談会の進行役、沖永優子です。今日は山口市、小郡町、秋穂町、阿知須町、徳地町でさまざまな形でまちづくりに携わってこられた皆さんにお集まりいただきありがとうございます。皆さんのこれまでの活動を通じてのふるさとへの思い、そして皆さんが思い描く未来予想図などを語っていただきます。コメントターナーを務めていただくセニョール小林さんです。

市ノの住民の一人として、皆さんのお話をいろいろとお聞きしたいと思います。思っています。

沖永 それでは、皆さんに自己紹介をお願いします。

松本 小郡町の松本です。吉南青年会議所の理事長として、会議所を通じたまちづくりを考えています。現在、会議所と地域の団体が協力し、小郡町として最後の「ふしの夏まつり」（7月23日（土）の18日（日）に「きららドーム」で、プロ野球の名球会の方をお招きし、野球教室を行います。

澤田 阿知須町の澤田です。わが



# 県央部1市 みんな 新「山口市」

いよいよ10月1日に迫ってきた県央部1市4の合併。それぞれのまちから参加いただき培ってきた経験などが、合併後の新市における期待を持つかなどを熱く語り合っているルテレビ（12チャンネル）で、7月1日（金）



まつもとれん たろう  
松本練太郎さん（小郡町）  
平成17年（社）吉南青年会議所理事長



こばやし  
セニョール小林さん（山口市）  
本座談会のコメンテーター



おきながゆう こ  
沖永優子さん  
本座談会の司会進行役



会場：きららスポーツ交流公園（阿知須町）

町にお越しいただきありがとうございます。私には、阿知須小学校のPTA会長、商工会青年部の元部長として、参加させていただいております。

内田 秋穂町で図書ボランティアグループ代表、読み聞かせグループ「おはなし玉手箱」で活動している内田です。図書ボランティアでは、「多くの方に本を読んでもらいたい」との思いから、小・中学校などへの本の団体貸出やいろいろな方法での読み聞かせを展開中です。

今澄 徳地町の今澄です。「重源の郷」にいられた方への紙すき指導を行いながら、まちづくりを考えるワークショップなどにも参加しています。

小柳 県立大学社会福祉学部2年の小柳です。マジックを通して、若者とお年寄りが絆を超えて、関われることをモットーに活動しています。

沖永 ちなみに今見せていたただけるマジックはありますか。

小柳 はい。ではお見せしましょう。

（今澄さんの握ったコインの種類が一瞬で変わり、一堂盛り上がる）  
沖永 なるほど！これをコミュニケーションツールとして活動されているんですね。



## 子どもたちがまちを愛し、夢が持てる提案を

(松本)

沖永 さて、松本さんは今日、東京から直接来られたんですね。

松本 はい。経営する会社は小郡にあります。経営する会社は小郡にありますが、仕事上、月の半分ずつ東京と小郡を行き来する生活です。仕事を終え小郡に帰ると、変わらない景色に「ほっ」とします。しかし、東京から訪れた友人は、10年前から変わらない景色や夜の暗さに驚きます。

小林 松本さんが東京と小郡を行き来して仕事ができるのは、小郡が交通の要衝であることと関係があるのでしょうか。

松本 そのとおりです。よく東京の方に「なぜ東京に本社を持つてこないの」と言われますが、東京までは飛行機を使い、1時間少々で行けます。商談の際は、東京にいる相手先よりあとに出て、先に着いてしまいますから、あえて移転する必要はないと思います。また、山口県で頑張り東京で勝負している会社もあることを示したい気持ちもあります。

小林 松本さんは、名球会のイベントを企画していらっしゃるといふことですが、スポーツの面からまちづくりについて、考えている



昨年の「ふしの夏まつり」(小郡町)

ことはありますか。

松本 「まちづくりは人づくりから」と考えます。また、そのまちに住む大人や子どもたちが、まちを愛してくれるような、夢が持てるような提案が大切です。そこで今年、「頑張り」と声を掛けるだけではなく、「頑張り上手になれる方法を具体的に学び、将来いろいろな形で生かしてもらえば」と、野球教室を開催します。

沖永 子どもたちにとっても名球会の方たちとの出会いは、一つの宝物になりますよね。

松本 プロ野球の中でも数十人しかおられない成功者の声を聞き、触れ合えることは、大変貴重な体験ではないかと思えます。

沖永 名球会の方たちと触れ合った子どもたちがどんな大人になっていくのか、楽しみです。澤田さんは、どんなまちづくりの活動をしてこられましたか。

澤田 まちを活気づけようと商工会青年部のメンバーと花火大会などのイベントを行ってきました。また、小学校のPTA会長として活動するうえで日ごろから意識することは、今の役員の方が将来にわたって地域でまちづくりに励む

### 読み聞かせを通じ

### 子育て中のお母さんたちを元気づけたい (内田)

沖永 内田さんの具体的な図書活動について、教えてください。

内田 活動を始めたころは、秋穂町に図書館や本屋がなかったため、子どもが本に接する機会が少ないという危機感から活動を始めました。本の貸し出し、整理から始まり、入園前の小さなお子さんを対象に読み聞かせも始めました。活動しているうちに、読み聞かせ会に来られても、周囲との関わり合いが苦手なお母さんが多いことが気になり始めました。そこで現在は、読み聞かせ会のあとにお母さん同士の交流会を開くなど、子育て支援にも力を入れ、ご好評いただいています。

ためには、今のうちに子どもを通じて大人が縦・横の楽しい人間関係を作っておくべきではということとです。

沖永 今澄さんは、これまでの活動を通じ、感じたことは何ですか。

今澄 紙すきは体験が主ですが、体験によって得られる人と人とのつながりの大切さを感じます。

小林 「重源の郷」という場所が、人と人が触れ合う大きなきっかけの場になっているのですね。

沖永 お母さん方の雰囲気など、始めた当初と比べて変わったことはありますか。



読み聞かせ会「にこにこおはなし会」(秋穂町)

内田 お客さんとして来られていた方が、現在メンバーとして参加しています。現役のお母さんは、いい絵本をよくご存じです。年輩のメンバーはその情報を刺激にするなど、いいネットワークが広がっています。

小林 内田さんの活動は、秋穂町だけで行われているんですか。

内田 ほぼ全県的です。個人的には、時々防府市にも出かけて読み聞かせをさせてもらっています。

## コミュニケーションのさらに上のステップを目指して（小柳）

沖永 小柳くんは、マジックを通して得られたものがありますか。

小柳 ボランティアはともに学び、高め合うのだと感じたことです。



県立大学「水無月祭」での「ミステリーサークル」のステージ（山口市）

仙台市出身ですから、東北弁を生かして、絵本を読ませていただいたりもしています。

小林 1市4町だけではなく、すでにネットワークが広がっていますね。

内田 はい。すでに合併後の活動を視野に、山口市のボランティア団体へも加盟させていただき、山口市立図書館での各ボランティア団体の活動内容の情報を頂いています。

ボランティアには、何かをしてあげるといイメージがありますが、それだけではお互いに楽しくないですし、互いに向上し合う工夫が必要だと感じました。

沖永 ところで小柳くんは、今悩みを抱えているそうですね。

小柳 マジックを使ったボランティア活動を始めたときの目標は、ふだん自分が接することの少ない子どもやお年寄りとのコミュニケーションの輪を築くことでした。最近だんだんとそれができるようになり、今はその次のステップを模索しています。

澤田 人と人とのつながりが、コミュニケーションだと思えます。

それをさらに深めていくには、お互いを理解し、認め合うこと。小柳くんの場合、人にマジックというボールを投げているのですが、今度は受け手が何かを発信してくれる、その後もキャッチボールが続き、付き合いの幅が広がり深くなるかもしれません。

松本 彼は若いのに自分の考えを持っていて偉いと思います。自分が19歳のときは、そこまでのことは考えていませんでした。コミュニケーションの次の答えを今出さなくても、それを常に意識して今の活動を続けていけば、自然と答えは出てくるはずです。

今澄 私は紙すき10年といわれる世界にいますが、思い描いた紙を書くことができず満足してしまいう

## 「自分たちのことは自分たちで」という意識をもっと増やしていかなければ（澤田）

小林 合併後の大きくなったまちを考えると、それぞれの活動についても、課題が見えてくると思いますが、皆さんはどのように克服しようとお考えですか。

澤田 合併の目的は、行政の経費削減ですから、住民みずから行うことが増えていきます。「自分たちのことは自分たちで行う」という住民自治の意識が増えていか

と、それまでです。より上を目指して向上し、常に人が興味を抱くようなものを作っていかなければ、飽きられてしまいます。作り手には、受け手の新鮮な刺激になるものを作り続ける力と向上心が必要だと思います。

小柳 大変参考になりました。これから自分のやっていることに自信を持って、積極的に取り組んでいきたいです。

小林 ここで4町の方と知り合い、マジックを披露する場が広がったわけですね。今後訪ねた先でも人とのつながりが生まれ、いろいろなものが見えてくるかもしれませんね。

小柳 はい、楽しみです。

なければ、まちづくりは進まないと思います。住民が互いに声を掛け合い、さまざまな場で前向きに活動していけば、問題解決も図れると思います。住民ができることは、そういう小さなところからだと思います。合併後のまちづくりにおいては、多くの方と今日のように構想を持って、夢を語りあえる場も欲しいですね。

**小林** まちが大きくなるというところは、それだけ地域に住む人たちが自分たちの地域のことを意識する、より大事にすることが大切になってくるということですよ。

**松本** 来年、吉南青年会議所は30周年を迎えるのを機に、1市4町に枠を広げてバレーボールやサッカーなどの教室に取り組むことも考えています。昔に比べ、今は青年会議所以外にも各種団体がありますので、会議所も合併後の姿を模索していかなければならないと考えています。

**内田** 知り合いが増えることは、私たちボランティアを行っている者にとって、一番重要なネットワークが築かれるということだと思います。合併を機に、それぞれの地域で活動し、地域に精通したボランティア同士の知恵の交換がより進むのでは、と大きな期待があります。

## ネットワークを広げて 伝統文化を継承していきたい（今澄）

**沖永** 最後に皆さんの思い描く、新市の未来予想図をお聞かせください。

**今澄** 今年は、重源上人が東大寺再建のために徳地の木を運び、徳地の地に和紙をもたらし7800年目です。これを記念した「重源

**今澄** 徳地町は高齢化の進んだまちといわれていますが、実際はまちづくりに積極的な住民が多いと思います。それを皆さんに知っていただき、交流を深めていけたらと思います。

**小林** まちが大きくなるということは、野球に例えると、グラウンドが広くなった分、ボールを投げたりバットで打ったりする力を強く、技術を向上させなければなりませんということだと思います。それは、個人の技術や力量を高めていくということだと思いますが、合併を機にコミュニケーションやネットワークを充実させれば、遠くまで一人で投げなくても間で誰かに中継してもらえます。

それは皆さんが、いかにコミュニケーションを取っていくか、ネットワークを作っていくかにかかっていると感じました。

の郷800年祭」も開催されますが、現在徳地和紙の後継者はお一人だけです。そこで合併後は、人と人のつながりを深め、ネットワークを広げ、伝統ある徳地和紙を「ちょっとすいてみようか」と興味を抱かれた方に体験していた



「重源の郷」紙すき体験（徳地町）

だき、後継者育成につなげていきたいと思っています。

**松本** 交通の要衝である小郡は、高速道路のインターチェンジがあり、新幹線のぞみ号の停車により、新幹線のぞみ号の停車により、駅の乗降客もかなり増えています。その点が、合併後どのように発展を遂げるか、楽しみです。また、そこに住む人たちが最高の笑顔で過ごせる、元気があり、さまざまな情報が集まるまちにしたいと思っています。そのためには、そろえていかなければならないものがあると感じています。自分たちに今できることは何かを常に考えながら、今後もまちづくりに貢献していけたらと思います。

**内田** お母さん、特に若いお母さんが安心して子育てできるまちになるといいですね。お母さんが穏

やかに安心して子育てができれば、お子さんも穏やかに育ちます。そうして笑顔の家族が増えれば、穏やかで温かいまちになるのではと思っています。

**澤田** 新山口駅と山口宇部空港の中間に位置する阿知須町は、整備された道が新山口駅までありますが、空港までは直接結ばれていません。空港から町の海岸部を経て、山口市の中心部までを結ぶ道が、中核都市の基盤として整備されるといいですね。その中で私たちが取り組むのは、それによって生まれるさまざまな行き来を生かし、新山口駅から山口宇部空港までの一帯が、おもてなしの気持ちを持った一つの観光の受け皿になるまちづくりです。現在町では、



「山口きらら博」をきっかけに始まった「花と緑のボランティア活動」（阿知須町）



多くの方がボランティア活動に参加され、「すごくいいまちだな、もっとお手伝いをしなければ」と感じます。またこの辺りは、広大ななら浜一帯を生かした海のレジャースポットとしても活用が期待できます。

小柳 地域のコミュニティネット

## 「となりまち」が「仲間のいるまち」に（小林）

小林 この対談の前は、1市4町が合併してとても大きなまちになることへの不安がありました。皆さんの話を聞き、皆さんのような方々とともに一つのまちをつくっていくことは、楽しみでもあり、心強くなりました。

まちが大きくなるということは、移動する距離が長くなるということです。しかし、ここ「きららス



ワークの充実により、みんなできりあげるまちになればと思います。それぞれの得意分野を生かし、みんなが楽しめるまちをつくり、新たな問題には、試行錯誤しながらみんなで解決していけるまちになるよう、僕も協力していきたいと思っています。

「スポーツ交流公園」のように子ども

が来たがる魅力的な場所には、毎週でも来たくくなります。また、お知り合いになった今澄さんから「ちょっと紙をすきにおいでよ」と誘われたなら、友達や知り合いの家へ遊びに行く感覚で、そこまでの距離がとても近く感じられます。こういうことが、これまで皆さんが語ってこられたコミュニケーションであり、ネットワークなのかな、と思いました。

こんな魅力的なそれぞれのまちが合併して生まれる新市は、相乗効果でとてもすてきなまちになるんじゃないでしょうか。

沖永 私も日ごろからもっと人とのつながりを深めておこうと思いました。これから皆さんの思いが、新市で花開くといいですね。今日はどうもありがとうございました。





## 緑の少年隊 榎野川改修現地を見学

緑の少年隊は、自然に親しみ、自然の中での体験学習や野外活動を通じ、緑を愛し守り育てる心をはぐくむとともに、文化財を学習することで、文化財を大切にすることを養い、みんなで楽しく活動することをねらいとして小学生で組織されています。今年度の第1回の活動は6月12日に行われました。町公民館での入隊式に引き続き、国指定

天然記念物・ナギ自生北限地帯（岩屋地区）と、林勇蔵が精魂を傾け度重なる洪水被害の救済に取り組んだ、榎野川の改修現場を訪ねました。

昼食は榎野川河口近くの藤尾山公園で食べ、みんなで楽しいひとときを過ごしました。

### ●導流堤

榎野川は、上流域が広いのは対照的に下流の流路が狭いため、藩政期にもたびたび洪水を起こしていました。特に、吉敷川との合流地点はS字に曲がり

直角に流入していたので、大歳地区は水はけが悪く水害にあっていました。

そこで、吉敷川を榎野川と併行して流れるように直線の水路を造りましたが、地盤が椎ノ木峠トンネル（仁保津下地区）と同じ未風化の固い結晶片岩だったので、掘削に苦労しました。

この地区は昔から基礎を高くして水害から家を守っていましたが、今でもこの様子が一見してわかりません。岩屋橋近くの県中部環境センター前で、平川側九田川の導流堤も見学しました。

### ●越流堤

朝田川が流入する関屋付近は、榎野川が満水になるとよく氾濫しました。関屋の土手を高くすると山口側の被害を大きくし、土手が決壊すると小郡側に甚大な被害をもたらしました。

そこで、土手を高くすることなく堤防上に幅4尺（約1.2m）の石畳を敷いて、川の水が土手を越えても決壊しないようにしました。「馬踏みの石畳」として、今でも名残の石が舗装路面に露出しています。

### ●関屋の土手の切り広げ

榎野川の朝田仁保津間は川幅が狭く、増水時にはよく氾濫しました。

県の係官は堤防を高くすることで対処しようとしたが、農民の意を受けた林勇蔵は、堤防は低いまま川幅を仁保津側に15間（約27m）拡幅することを主張し実施にこぎ着けました。

### ●林光井手の改修

寛永万治（西暦1624年）のころ、代官東條九郎右衛門が築造した林光井手を、明治の榎野川大改修にあたり、林勇蔵が水位の調整を含め改築を行いました。

この大井手は、榎野川末流の東西両開作約千町歩（約千畝）の用水を分流するところです。その関係地域は小郡のみならず、陶・名田島・秋穂二島・嘉川まで供給しています。

昭和26年、同43年に続いて、最近では平成12年に転倒板故障修理を5億8000万円かけて改修しています。

### ●榎野川修工記碑

林勇蔵にとって、榎野川の洪水対策は度重なる被災体験以来長年の課題でしたが、明治29年6月、幾多の困難を乗り越え完



林光井手

成させることができました。これにより住人は安住し、水田を耕しました。

翁は工事完成から3年たった明治32年、87歳で亡くなりましたが、この大事業を後世に伝えるため翌年、榎野川修工記碑が東津の川土手に建てられました。碑文には工事の経過とともに、水害の起こる原因を示し、後の人にこれから守るため、水源を守り、土砂の流失を防いで障害物を除けば、川の流れは穏やかに海に流れると治水の方法も知らせています。

## 作品展・常設展のご案内

休館日 毎週月曜日・祝日  
7月の休館日 4・11・18・19・25  
開館時間 9時から16時30分まで  
ギャラリー最終日は15時30分まで

7/20(水) ～24(日)	こでまり 写真作品展
8/2(火) ～14(日)	原爆展 「子どもたちの平和ポスター・平和の絵本」展
1階	種田山頭火作品、資料展示
2階	彫刻家、河内山賢祐作品展示 ふるさと生活文化（民具資料） ふるさと文化（遺跡・歴史・人物・文化）

作品展に「ギャラリー」をご利用ください。  
問合せ先 小郡町文化資料館  
☎973-7071 ✉siryoukan@town-ogori.jp

# 町有地の売り払い

## 売払い物件

### ①物件1 (土地)

小郡町大字下郷字泉福寺

1番19

宅地 187・95<sup>2</sup>m<sup>2</sup>

※法令の規定により、建築物の建築ができない場合があります。

### ②物件2 (土地)

小郡町大字上郷字平原

2680番3

宅地 175・58<sup>2</sup>m<sup>2</sup>

### ③物件3 (土地)

小郡町大江町3番6

宅地 749・15<sup>2</sup>m<sup>2</sup>

### ④物件4 (土地)

小郡町黄金町13番5

宅地 364・02<sup>2</sup>m<sup>2</sup>

### ⑤物件5 (土地)

小郡町若草町2番15

宅地 448・73<sup>2</sup>m<sup>2</sup>

### ⑥物件6 (土地)

小郡町平砂町3番1

宅地 931・24<sup>2</sup>m<sup>2</sup>

### ⑦物件7 (土地)

小郡町平砂町4番1

宅地 1138・65<sup>2</sup>m<sup>2</sup>

### ⑧物件8 (土地)

小郡町大字下郷字能力北

3078番1、3079番  
宅地 1252・00<sup>2</sup>m<sup>2</sup>

## 現地説明

日時 7月21日(木)

①物件1 午後1時00分

②物件2 午後1時30分

③物件3 午後2時00分

④物件4 午後2時30分

⑤物件5 午後3時00分

⑥物件6 午後3時30分

⑦物件7 午後4時00分

⑧物件8 午後4時30分

場所 売払い物件所在地

## 一般競争入札

日時 7月29日(金)

①物件1 午前9時00分

②物件2 午前9時30分

③物件3 午前10時00分

④物件4 午前10時30分

⑤物件5 午前11時00分

⑥物件6 午前11時30分

⑦物件7 午後2時00分

⑧物件8 午後2時30分

場所 町役場 第2会議室

問合せ 町財務課 管財係

☎(973) 2413

## 初級英会話教室 2期生募集



4か月で終了する、歌あり、寸劇ありの楽しい教室です。話す楽しさを体験しましょう。

期間 8月～11月の4か月間

(第1～3月曜日の午後7時15分～午後8時45分)

定員 30人(先着順) 申込期限 7月27日(水)

講師 山根和明さん(山口大学経済学部助教授)

受講料 無料(ただし、教材費月額200円が必要)

会場・申込み 町ふれあいセンター ☎973-0003

## いのち 健康体操(生命の貯蓄体操)教室 参加者募集

「寝たきり防止」や「いつまでも元気な体で過ごしたい」、その外どのような理由でも結構です。あなたも、いっしょに体操を始めてみませんか?

日時 8月～11月(第1・第3の火曜日) 午後1時30分～午後3時に8回実施  
※詳細は参加者に改めてお知らせします。

場所 町保健福祉センター

対象者 30人程度

老若男女どなたでも大歓迎です。

元気な方、虚弱な方、腰痛、肩こり等のある方もどうぞ。

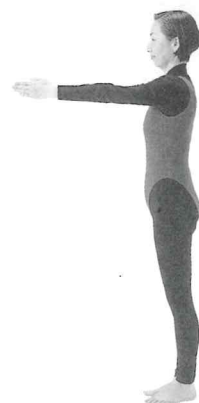
※病弱な方は主治医にご相談のうえ、お申込みください。

必要な物 体操のできる服装(ジャージなど)、タオル

参加費 無料(ただし、テキスト代として500円が必要です)

募集期限 7月29日(金)までに、保険係へご連絡ください。

申込み・問合せ 町役場 町民課保険係 ☎973-8131



# 歯の健康優良児表彰

歯の衛生週間（6月4日～10日）にあわせて6月4日、吉南地区歯の健康優良児表彰式（吉南歯科医師会主催）が、町保健福祉センターで開かれました。同地区の小学6年生と中学3年生を対象に、校医が推薦した20人が表彰され、賞状と記念品が渡されました。

当日行われた審査の結果、特に優良と認められた4人が県の審査会に出場することになり、町内から、上郷小学校の若木香朋さん（光が丘東）、小郡小学校の近藤守くん（山手上）が選ばれました。

「日ごろ気をつけていることを聞くと、「朝晩、歯磨きをしています」（若木さん）、「上下、裏表を隅々まで磨きます」（近藤くん）とのことでした。



## 上郷小学校



若木香朋さん 佐藤早耶香さん 瀬瀬 望さん 上田泰慈くん 岩井雅治くん

## 小郡南小学校



吉山和輝くん 吉本早紀さん 山下沙季さん 三好由真さん 杉山元気くん

## 小郡小学校



近藤 守くん

## 第55回社会を明るくする運動

「社会を明るくする運動」は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちの更生について理解を深めるとともに、次代を担う青少年の健全育成、非行防止についてそれぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。

今年の重点目標は「地域活動の推進による少年の非行防止と更生の援助」です。

この運動も法務省の提唱に進みます。

主な運動内容

- 広報ポスターの掲示
- 啓発チラシ、ティッシュなどの作成と配布
- JR新山口駅前（北口）での街頭広報（7月1日金）

午前7時～午前8時）  
吉数郡大会  
日時 7月12日（火）  
午後1時30分開会  
場所 秋穂町大海総合センター（らんらんドーム）

小郡町実施委員会

山口県知事表彰 功労章



町消防団長  
則松 界さん（大正上）  
全国大会で優勝1回  
準優勝3回の町消防団  
の伝統を築いた立役者  
であり、現在では団長  
を務めておられます。

日本消防協会長表彰 精績章



本部分団長  
末廣益治さん（東津下）  
消防活動歴38年、そ  
の人柄ゆえ団員の信頼  
も厚く、消防団本部分  
団長として消防活動に  
尽力されています。

山口県知事表彰 永年勤続功労章



第1分団部長  
山崎勝政さん（緑町）  
32年の消防活動にお  
いて各種災害にも率先  
して出動し、現在でも  
部長として消防活動に  
尽力されています。

小郡町消防団員の  
表彰

消防庁長官表彰 永年勤続功労章  
日本消防協会長表彰 勤続章



副団長  
尾崎弘宗さん（山手下）  
消防活動歴31年、筋  
金入りの消防人として  
消防団活動を支え、副  
団長として予防活動に  
尽力されています。

山口県消防協会長表彰 功労章



元第2分団長  
藤井正彦さん（東津上）  
24年間消防団に在籍  
し、4月末で退団され  
ましたが、全国大会の  
優勝チームの一員とし  
ても活躍されました。

金婚夫婦へ  
お祝いのご案内



9月19日の「小郡町敬老の日の  
式典」で、金婚を迎えられるご夫婦  
をお祝いし、記念品を贈呈します。

対象者

昭和30年1月1日から同年12月  
31日までの間に婚姻された方です。  
該当される方は、町役場へご連絡く  
ださい。

連絡先 町高齢生活課 高齢係  
☎973-8153

社会福祉法人合併公告

社会福祉法人山口市社会福祉協議会、社会福祉法人小郡町  
社会福祉協議会、社会福祉法人秋穂町社会福祉協議会、社会  
福祉法人阿知須町社会福祉協議会および社会福祉法人徳地町  
社会福祉協議会は、平成17年10月3日を合併期日として合併  
し、新しく社会福祉法人山口市社会福祉協議会を設立する旨  
を各社会福祉協議会の理事会および評議員会で議決しました。  
合併により、社会福祉法人山口市社会福祉協議会、社会福  
祉法人小郡町社会福祉協議会、社会福祉法人秋穂町社会福祉  
協議会、社会福祉法人阿知須町社会福祉協議会および社会福  
祉法人徳地町社会福祉協議会は解散し、その一切の権利義務  
を新法人である山口市社会福祉協議会が継承します。

この合併に対し異議のある債権者は、本公告掲載の翌日か  
ら9月26日までにその旨をお申し出ください。

平成17年7月1日

山口県吉敷郡小郡町大字下郷143716

社会福祉法人小郡町社会福祉協議会

会長 岡本 斌

# 重度心身障害者 医療費助成制度



## 受給者証の更新・新規申請

平成17年7月1日～平成18年6月30日分

町内に居住している医療保険加入者のうち、障害のある方の入院・通院にかかる医療費の一部を助成します。対象となるのは、次のとおりです。

### (1)居住地要件

小郡町に居住地を有している者

(ただし、当町から直接、町外の老人福祉施設等に居住地を有している者も含まれます)

### (2)医療保険加入要件

社会保険、共済組合、国保等の医療保険に加入している者

### (3)所得要件

平成16年中所得対象(本人のみ)

### (4)障害の程度

身体障害者手帳1～3級、精神障害者手帳1級、療育手帳A、障害基礎年金1級、特別児童扶養手当1級 程度

### ◆申請に必要なもの

- ・印鑑
- ・健康保険証
- ・障害の程度がわかる手帳・証書
- ・平成17年度所得証明書(平成17年1月2日以降に転入された方)

■申請・問合せ 町健康福祉課 児童福祉係

☎973-8145

## いきいき はっらっ人生

### 卓球(ラージボール)の普及を願って

よしもと  
山村美智さん(71歳)

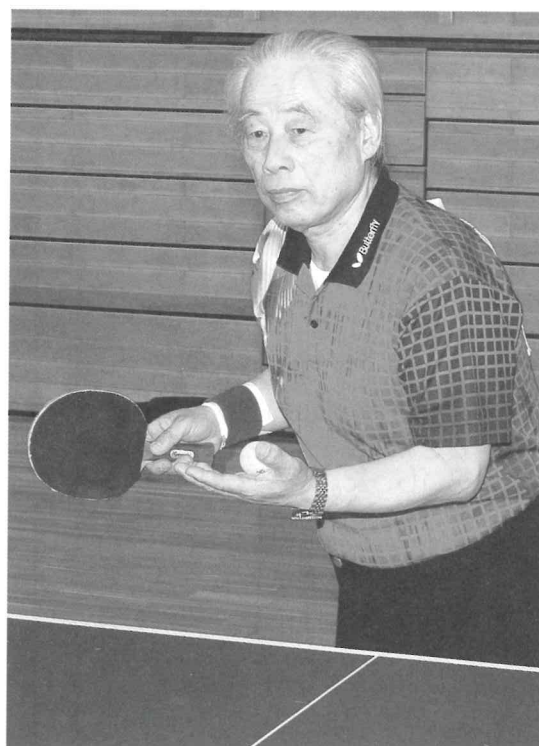
山村さん(尾崎)は山口県健康福祉祭競技スポーツ大会「卓球男子シングルス70歳以上の部」で4位に入賞されました。

50歳まで仕事一筋でこられた山村さんは、大病を患われたことがきっかけで、病後の体力をつけるため本格的に卓球を始められ、今では週2回の練習に励まれています。

競技用卓球のボールより一回り大きいラージボールは、高齢者にとって健康的で楽しく、人の輪を広げてくれるのに最適とのことです。

同じく50歳を過ぎて始められた囲碁は、囲碁クラブで週3回打たれ、今では4段の腕前だそうです。

「生活リズムを規則正しく、何事にもこだわらず、明日に向かって努力」がモットーとおっしゃっています。



# 予防接種

日本脳炎に関する重要なお知らせ

## 予防接種を差し控え

予防接種法の規定に基づき、定期の予防接種として実施してきた日本脳炎の予防接種について、厚生労働省は平成17年5月30日、ワクチン接種を当面見合わせることをしました。

これを受けて、小郡町でも接種を見合わせることにしました。現在の日本脳炎ワクチンと、それを接種した後の重症ADEM（急性散在性脳脊髄炎）の発症に因果関係が認められたためです。より安全性の高いワクチンの供給体制ができたときに、接種を再開する予定です。

## Q & A

**Q** 日本脳炎とは、どのような病気ですか？

**A** 日本脳炎とは、蚊の一種のコダカアカイエカが運ぶウイルスが原因で脳炎を起す病気です。1960年代は国内で年間1,000人以上の患者が発生していましたが、近年

は年間数人で、中高齢者が主となっています。

**Q** 日本脳炎の予防接種を受けました。ADEMにかかる心配はないでしょうか？

**A** 日本脳炎の副反応としてのADEMは70〜200万回の接種に1回程度で、きわめてまれに発生すると考えられています。万が一、発症しても通常は軽い症状で、その後の再発は見られません。

予防接種によるものと考えられるADEMとは、ウイルスの感染後あるいはワクチンの接種後に、まれに発生する脳神経系の病気です。ワクチン接種後の場合、通常は接種後数日から2週間程度の間が発熱、頭痛、けいれん、運動障害などの症状が現れます。

ステロイド剤などの治療により完全に回復する例が多く、良性の疾患とされていますが、運動障害など神経系の後遺症が10%程度あると言われています。症状が疑われる場合には、医療機関に受診してください。

**Q** 予防接種が中止されることで、日本脳炎が流行することはありますか？

**A** 予防接種の普及、蚊のウイルス保有率の減少、環境改善による蚊に刺される機会の減少などにより、予防接種を受けるべき年齢の方が予防接種を受けなくても、日本脳炎に感染する機会はきわめてまれと考えられています。

しかし、戸外へ出かけるときには、念のためできるかぎり長そで、長ズボンを持ってまれと刺さらないように注意しましょう。

※流行地域への渡航や、蚊に刺されやすい環境にあるなど、日本脳炎に感染するおそれが高く、本人または保護者が希望する場合には、効果および副反応の説明を受け、同意書に署名したうえで、現行の日本脳炎ワクチンの接種が認められます。

かかりつけ医師に相談してください。

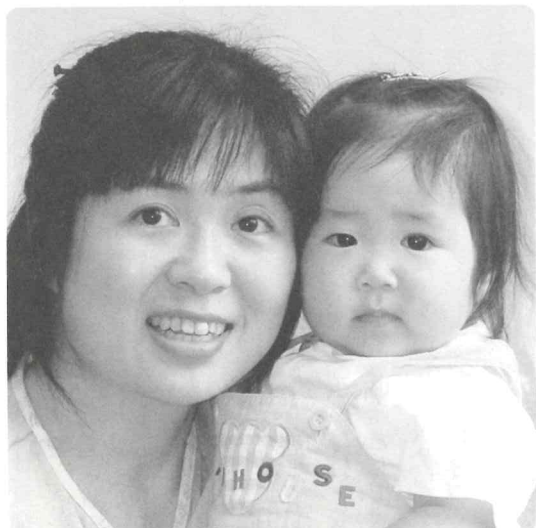
問合せ 町健康福祉課 健康係

☎(973) 8147

ほまり  
▽杉本帆鞠ちゃん (明治北)

H16.6.28生まれ

「食べることが大好きな帆鞠。みんなから好かれる優しい女の子になってね」と、お母さんの淳子さん



こんにちは  
赤ちゃん

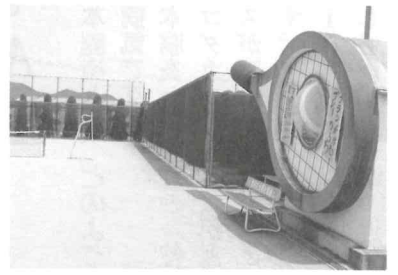


りょうた  
△松並稜大くん (矢足)

H16.6.4生まれ

「いつもニコニコ元気な笑顔をありがとう。体も心も大きな男の子になってね」と、お母さんの陽子さん

## 町テニスコート 全面使用禁止



8月1日～30(予定)日の間、町運動公園テニスコートの第1、第2コート張替えに伴い全面使用できません。

問合せ 町公民館  
☎(973)0638

## 男女共同参画事業講演会

日時 7月17日(日)  
午前10時30分～午後12時30分  
場所 町公民館3階 講堂  
内容 男と女のガッテン論  
～家庭と仕事・地域活動との  
合点～

講師 小野文恵



(NHK  
アナウンサー)

参加費 無料  
託児 あり(要申込み)  
主催 町女性団体連絡協議会  
問合せ 町まちづくり推進課  
☎(973)2414

## 親子工作教室

対象者・日程  
①町在住の3歳～4歳の幼児と  
その保護者・7月25日(月)  
②町在住の5歳(年中)～小学  
校低学年の児童とその保護  
者・8月22日(月)  
①・②共通

時間 午前10時～午前11時30分  
場所 町保健福祉センター  
参加費 材料費として300円

内容 アトリエホビットの寺  
田真美子先生の指導を受けな  
がら親子で工作。自然の素材  
を使って工作をします。

定員 15組  
※定員になり次第締め切り  
申込み 町健康福祉課 健康係  
内 わくわくくらぶ事務局  
☎(973)8147

## 夏休みボランティア 体験講座

ボランティア活動もいろいろ  
ありますが、今回は、「ひとに、  
気持ちや情報を伝える」ボラン  
ティアのひとつを体験してみま  
せんか?1回の参加でもかま  
いません。家族、お友達、ご近所  
の方といっしょにどうぞ!

対象者 小学3年生以上～成人  
日時  
7月27日(水) 絵手紙  
7月28日(木) 手話  
7月29日(金) 音声訳  
いずれも午前10時～正午

場所 町社会福祉協議会  
参加費 無料  
申込み・問合せ 町社会福祉協  
議会 ☎(973)0450  
☎(973)0611

## 第4回小郡グリーンプラザ いきいきまつり

日時 7月30日(土) 午前9  
時～午前11時(小雨決行)  
場所 小郡グリーンプラザ  
(町文化資料館横)

主催 小郡グリーンプラザ施  
設活用促進協議会  
イベント アユのつかみ取り  
(先着160人)、木工教室、  
積み木積み競争、ブラックバ  
スの試食(予定)など

販売 農産物直売、しじみ、  
アユの直売など  
アユのつかみ取りの申込み方法  
左記へ電話申込み(住所・氏  
名・年齢・電話番号)  
※当日は、午前9時20分までに  
受付をしてください。

申込み・問合せ 町経済課 農  
政係 ☎(973)2540

## ひとりのできる 子どもの料理教室

「自分で料理する喜びや、食  
事の大切さを子どもたちに知っ  
て欲しい」食生活改善推進協  
会では、そんな願いを込めて料  
理教室を開催します。

対象者 おおむね小学3年生以  
上の小・中学生

日時 8月2日(火)・8月4日  
(木) 午前10時～午後1時  
※どちらか都合のよい日を選ん  
でください。

場所 町保健福祉センター  
内容 調理実習、試食  
申込期限 7月22日(金)  
参加費 300円

持参品 エプロン・三角きん  
申込み 町健康福祉課 健康係  
☎(973)8147

## 児童巡回相談

対象者 18歳未満(乳児を含む)  
の児童およびその保護者で、  
相談を必要とする者

日時 8月5日(金)  
午前10時～午後3時  
場所 町保健福祉センター  
内容 児童相談所の職員が地  
域を巡回し児童の健全育成に  
係わる相談、指導助言等の活

動を行うことにより、児童福  
祉の増進を図る。

問合せ 町健康福祉課 児童福  
祉係 ☎(973)8145

## やまぐち森林づくり 事業について

山口県では、荒廃が深刻化し  
ている森林を、適正に維持・管  
理し、県民共有の財産として次  
世代に引き継いでいくために、  
今年度から「やまぐち森林づく  
り県民税」を導入しました。

この税を使用した森林整備に  
ついては、県が主体となり事業  
を実施していきますが、事前の  
調査については町が行うこと  
になりました。

そこで町では、事業の対象と  
なる左記に該当する森林につ  
いての調査をしていますので、情  
報がありましたらご連絡くださ  
い。

1.長期間放置され荒廃している  
人工林(スギ・ヒノキ)  
2.放置され繁茂拡大した竹林  
※面積が1反以上の森林が事業  
の対象となります。

ほかにも条件がありますので、  
詳しくは町経済課までお問合せ  
ください。

問合せ 町経済課 農林整備係  
☎(973)8158



## 後期パソコン講座

小郡町公民館主催の後期ＩＴ講習会を行います。

中級者の方を対象に、楽しく・やさしく・わかりやすい講座となっています。この機会に受講してみませんか。

### 中級者コース

日本語入力が可能で、初級者からのステップアップを目指す方を対象

日時 8月23日(火)～26日(金)

(4日間) 午後6時30分～午後9時30分

内容 ワード基礎「案内状やポスターを作ろう」

場所 町公民館

対象者 一般町民(学生を除く)

定員 18人

※申込み多数の場合は抽選

資料代 1,000円

申込み 往復ハガキに住所・氏名・電話番号を明記のうえ、

〒754-0002

小郡町山下

小郡町公民館まで

※今年度パソコン講座を受講されていないう方を優先します。

申込期限 7月29日(金)(必着)

問合せ 町公民館内パソコン講座係

座席 ☎(973) 0638

## 平成18年3月採用 自衛官の募集説明会

日時・場所

○7月30日(土)

午後1時～午後4時

ばるるプラザ山口

○7月31日(日)

午後1時～午後4時

サンライフ防府

説明種目 防衛大学校、一般曹

候補学生、曹候補士、航空学

生、2等陸・海・空士、看護

学生、その他

申込み・問合せ

自衛隊山口募集案内所

☎083(925) 8231

## 新山口・サマー フェスティバル2005

黄金公園ふれあい夏祭りを、今年から「新山口・サマーフェスティバル」として行います。

ポランティアの子どもたちと、夏のひとつときを「心をあわせて」楽しんでください。

日時 7月17日(日) 午前11時～午後8時 ※雨天決行

場所 黄金町公園

内容はしご車の放水、太鼓演奏、手作りみこしなど

※ポランティアの一環として、

「こみ0(ゼロ)タイム」(公

園、風の並木道のごみ拾い)を設けていますので、こちら

の参加も願います。

問合せ フィオーレ

☎(973) 0234

## おごり文化協会文化講座

対象者 一般町民

日時 7月30日(土)

午後1時30分開講

場所 町公民館

内容 演題「放送の裏話」

講師 小林 真人(元TYS  
ニュースキャスター)



入場料 無料

問合せ おごり文化協会

事務局長 原田正行

☎(972) 0151

## 県・市町村離職者 緊急対策資金貸付制度

貸付対象者(次のすべてに該当する方)

(1)県内に1年以上居住する方

(2)離職時の事業所に1年以上勤務していた方

(3)離職を余儀なくされた勤労者で、離職後1年以内の方

(4)借入申込時、現に離職しており、かつ、求職活動を行っている方

※確認書類として、雇用保険受給資格者証等の証明書が必要

資金用途 大学教育、住宅償還

金、冠婚葬祭・療養、災害、一般生活などの資金

貸付限度額 70～150万円

償還期間 3～6年以内

貸付利率 年1・0%(別に保証料が必要)

保証人等 連帯保証人1人(申込人と別生計の方)と(社)日本労働者信用基金協会の債務保証を受けることが必要です。

申込み 中国労働金庫(貸付にあたっては、中国労働金庫の審査があります)

問合せ 県東部労政事務所

☎0834(33) 6441

## 毎月勤労統計調査 特別調査のお願い

厚生労働省と山口県では、常用労働者数1～4人の事業所を対象に、給与・労働時間・雇用などの調査を平成17年7月31日現在で実施します。

調査に際しましては、県知事が任命した調査員が7月中旬から下旬にかけて、調査対象地区内の事業所へお伺いしますので、ご協力をよろしくお願います。調査対象地区は、上郷、下郷各地区の一部です。

問合せ

県統計課 商工労働統計班

☎083(933) 2654

## チャリティ ボウリング大会

日時 7月31日(日)

Aシフト 午後4時～

開会式 午後6時～

Bシフト 午後6時30分～

表彰式・閉会式

午後8時30分～

会場 小郡スーパーボウル

定員 A・Bシフト 各84人

参加費 1人2,000円

ゲーム方式 ヨーロッパ方式、3ゲーム

申込期限 7月20日(木)

申込み・問合せ 重見健治

☎(972) 0672

小郡町指定給水装置工事事業者および小郡町下水道排水設備指定工事店に左記の業者を追加

■(有)オーケー工業

山口市穂積町5番7号

☎083(922) 7329

## おわびと訂正

くらしのカレンダー7月号で、「おごり文化協会文化講座」の日にちが7月31日(日)となっていました。正しくは7月30日(土)です。おわびと訂正します。



(5月末現在)

人口	22,785人 (-34人)
男	11,102人 (-14人)
女	11,683人 (-20人)
世帯数	9,247世帯 (+6世帯)

※ ( ) は前月末との対比



### おめでた(5月届出分)

(保護者・出生者・住所)

有吉 真也	留渚	平 砂 町
面 真一郎	真希奈	大 正 上
今谷 恵明	優斗	仁 保 津 下
堺 弘和	美優華	新 町 東 上
田中 宏志	航貴	仁 保 津 下
石崎 宏幸	勇馬	津 市 南
田中 康行	望夢	長 谷
野草 達也	晴花	山 手 上
石田 泰三	みなみ	花 園 町
榎田 真也	美羽	矢 足

### ◆おくやみ(5月届出分)

(故人・年齢・住所)

佐々木ウタ	97歳	八 方 原
村田治郎一	95歳	明 治 西
高木フサエ	94歳	山 手 上
原田 豊子	91歳	八 方 原
清水サキコ	86歳	柳 井 田
重村シヅ子	85歳	柏 崎
金子佐恵子	84歳	新 開
三井富美子	79歳	明 治 東
田中ヒサエ	75歳	柏 崎
末廣 正夫	70歳	岩 屋
杉山 清吉	70歳	大 正 中
坂田 信義	68歳	中 央 通
中川 勝順	50歳	新 町 西
縄田 智美	45歳	柏 崎

謹んで お悔やみ申しあげます

※町内住民登録者を掲載(敬称略)

# ●司書がすすめる 今月の一冊

## 一般書

はじめての

## スクラップ・ブック

中澤千寿子・著



## 主役は「写真」

今月は、アメリカ5大クラフトのひとつを紹介します。

80年代にアメリカで始まった「スクラップ・ブック」は、色柄の台紙に写真を切ってはり、文字(メッセージ)を書いて、リボンやスタンプなどを使って装飾する手作りアルバムです。

本書では、1年間を通して各月の主だった行事の作品紹介、基本道具の紹介と使い方、用語、作業でのコツとアイデアが満載です。

スクラップ・ブックでは、大好きな人が写っている思い出の写真が作品の主人公です。撮影した写真から、自分流で世界にひとつの手作りアルバムを作ってみませんか?

## 図書館

### だより

#### ★新収図書(6月分)

##### 《一般書》

・漢方小説

・北九州美味本

・シナン 上・下

・魂萌え!

・中国の歴史

・僕の行く道

《絵本》

・あたらしいこなの

・あつぷつぶ

・だいすきなゲー

・もりのオンステージ

《児童書》

・さよならのまほう

・だれののぞむもの

・ティーンパワーをよろしく4  
エミリー・ロッダ  
山ばあばと影オオカミ  
小川英子

★おはなし会(対象年齢4歳)  
7月21日(木)  
午後4時から4時30分  
※図書館で行います。

★7月の休館日  
3、11、17、18、22(月末整理日)、25日

★お知らせ  
夏休みから、読書感想文・感想画の本の貸し出しを始めます。多くの方に読んでもらいたいで、貸出期限は1週間です。冊数に限りがありますので、返却日を守ってください。

★寄贈ありがとうございました  
伊藤祐子様(山口市)  
田村誠斗様(花園町)

中島たい子  
ゼンリン  
夢枕獏  
桐野夏生  
講談社  
新堂冬樹  
井上林子  
中川ひろたか  
やすゆき  
角野栄子

岡田淳  
中島和子  
岡田淳

# ふん 変ひろば



夕立が洗っていった  
茄子をもぐ  
山頭火

## 音楽にあわせて しなやかに・すこやかに!



5月22日、「3世代で3B サンサン」が町公民館で開催されました。日本レクリエーション協会の全国一斉「遊びの日」キャンペーンにあわせ、3世代で遊んで楽しもうと、日本3B体操協会公認指導者・南波敏子さん（大正下）が主催。参加者は、体操に使う器具を利用した遊びなどを楽しみ、「開放的な所で遊べてよかった。また開催してほしい」と話していました。

## 自分の住むまちを 再発見



5月17日、仲間と協力しながら故郷のよさを再発見しようと、小郡中学校の新生を対象にした町内ウォークラリーがありました。  
班に別れた生徒は、史跡や公共施設などを回りながら、課題に挑戦。矢足の其中庵では「山頭火が滞在していた期間は？」という課題が出され、生徒は紹介パネルを見て、答えを探していました。

（答え 昭和7年～同13年）

## ごみの行方を知る



「みらい夢くらぶ」（右田美代子会長）の皆さんが5月20日、町鍛冶畑不燃物埋立処分場を訪れ、ごみ問題を学習しました。廃食用油のリサイクル施設や廃プラスチックの選別の様子を見学したあと、森本節子さん（津市下）を講師に招き、「ヒュッテ桂谷ランプの宿」で環境問題の講習会を開催しました。参加者は「ごみの分別のことがよくわかった」と話していました。

## 心が和む川づくり まちづくりを目指して

6月4日、四十八瀬川のかつら橋と泉福寺橋の間で、四十八瀬川ほたる祭りがありました。式典で、山本俊昭同実行委員会会長が「ほたるをゆつくり見て、心をいやしてほしい。いつかは、小郡を代表する大きな祭りにしたい」とあいさつ。主催場の新町西公民館では、いろいろな催し物が開催され、多くの人が集まりました。(写真は「小郡民謡教室」の皆さん)



## 豊久丸 没後六百年

6月5日、豊久丸の供養が妙湛寺(元橋)で行われました。史料によると、大内義弘の死後、家督争いを心配した弟の盛見は実子の豊久丸を川に落とし、遺体が流れ着いた川岸近くに同寺を建立。境内の五輪塔一基が豊久丸の墓と伝えられています。今年は没後六百年ということで盛大な供養が営まれ、参列者は若くして命を落とした豊久丸の霊を慰めました。



## 自然の中を サイクリング

6月12日、「第1回おごおりウィークエンドアドベンチャー(あどべん)鍛冶畑サイクリング」が行われました。53人の参加者は、モリアオガエルの勉強をしたり、ウドやヨモギなど野草の天ぷらを食べたりしながら約15kmを走破しました。到着後は、竹を小刀で削ったはしであどべん鍋を食べ、日ごろできないことをいっばい体験した一日になりました。

